

くらしをまもり、未来をつくる

2023 春季生活闘争ニュース

2023. 4. 5 - 第 14 号 - 連合北海道 春季生活闘争本部

2023 年春季生活闘争 第 3 回回答集計結果について

連合本部は、2023 年春季生活闘争につき、4 月 3 日（月）17 時時点で取りまとめた回答集計について、次の通り発表した。

- 月例賃金改善（定昇維持含む）を要求した4,248組合中2,290組合が妥結済みで、うち約6割にあたる1,377組合（60.1%）が賃金改善分を獲得している。
- 平均賃金方式で回答を引き出した2,484組合の加重平均は11,114円・3.70%（昨年同時期比4,795円増・1.59ポイント増）、うち組合員300人未満の中小組合1,528組合の加重平均は8,554円・3.42%（同3,429円増・1.36ポイント増）となった。いずれも、比較可能な2013闘争以降で最も高い。また中小組合の率は、昨年2022闘争同様、前回第2回回答集計結果（3.39%）を上回っている。
賃上げ分が明確に分かる1,786組合の賃上げ分加重平均は6,130円・2.16%（同4,498円増・1.63ポイント増）、うち中小組合961組合の賃上げ分は5,338円・2.07%（同3,557円増・1.36ポイント増）となった。いずれも額・率とも賃上げ分の集計を開始した2015闘争以降で最も高い。
第1回回答集計以降高い水準が維持されているのは、中堅・中小組合が、先行組合が作り出した「賃上げの流れ」をしっかりと引き継ぎ、組合員の生活の安定や「人への投資」と月例賃金にこだわった粘り強い交渉を行った成果と受け止める。連合は引き続き、構成組織・地方連合会とともに、未解決組合の交渉を支援していく。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げは、加重平均で、賃上げ額は時給58.70円（同 33.18 円増）・月給8,897円（同3,313円増）、引上げ率は概算でそれぞれ 5.55%・4.00%となり、一般組合員（平均賃金方式）を上回った。

連合北海道は、4 月 3 日（月）17 時の時点で取りまとめた回答の集計を行った

- 集計可能な回答を引き出した組合は 73 組合（昨年同時期比 2 組合増）、人数は 30,212 人（同 400 人減）であった。
- 月例賃金の加重平均は、8,915 円・3.33%（同 3,458 円増・1.31 ポイント増）となった。
- ベースアップ分が明確にわかる組合は 52 組合あり、全体では 4,774 円（同 3,419 円増）であったが、うち 300 人未満の中小 32 組合では 5,305 円（同 3,547 円増）となり、300 人以上の組合の 4,703 円（同 3,384 円増）や全体集計を上回った。
- 有期・短時間等労働者の賃上げ額は、加重平均で 49.19 円の引き上げ、率にして 4.87%、平均時給は 1,051.51 円であった。

組合規模別賃上げ状況 2023 年 4 月 3 日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込)	昨年比
300 人未満	51 組合	4,690 人	6,943 円 (3.26%)	3,647 円 (1.67%)	3,296 円 (1.59%)
300 人以上	22 組合	25,522 人	9,237 円 (3.34%)	5,733 円 (2.06%)	3,504 円 (1.28%)
計	73 組合	30,212 人	8,915 円 (3.33%)	5,457 円 (2.02%)	3,458 円 (1.31%)